

# TSUDOI

## スタンダードプラン 週次レポート

TSUDOIはブロックチェーンと仮想通貨に特化した情報配信サービスです。

### 本レポートコンテンツ

#### ◆TOP銘柄分析ガイド

今週の急上昇銘柄分析、上昇理由と将来予測

#### ◆狙い目：中堅銘柄発掘ガイド

世界トレンド銘柄の分析

#### ◆大穴：新規銘柄発掘ガイド

CMC新規リスト銘柄分析

### ◆調査銘柄 早見表

TOP	 XRP	 BNB	 Chainlink
中堅	 EOS	 Pancake Swap	 Four
新規			

このレポートはTSUDOIの有料サービス、スタンダードプランの加入者専用の情報です。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。

レポートの読み方については、一覧に含まれる [「必見！成功へ導く3つの仮想通貨投資術」](#) をご覧ください。



とは

TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。



有料  
レポート

# 週次トークン価格高騰 TOP銘柄

## トップ銘柄 分析ガイド 3/21

本分析ガイドは、Coinmarketcap (CMC) サイトにて、7日間を通してトークン価格が最も高騰もしくは下落したTOP銘柄を調査し情報を提供するものですが、今週は、中堅銘柄同様、検索トレンドを中心に話題となっている銘柄を週次でまとめて分析となっています。この分析から、市場で何が起こったのか、どの銘柄が注目されているのかを把握することができます。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリ	時価総額	トークン価格	市場規模ベンチマーク比較	上昇率7days
#4	 <b>XRP</b>	Payment	¥21,182,538,148,323	¥364.53	—	▲9.9%
#5	 <b>BNB</b>	Layer1	¥13,271,069,260,954	¥93,147.36	2.69倍 (ETH比)	▲8.59%
#11	 <b>Chainlink</b>	Oracle	¥1,429,880,442,224	¥2,176.04	—	▲11.28%

## TOP銘柄チャート

上記画像は、Coinmarketcap (CMC) で記載されている7日間の価格推移を表示したチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、▲3.32%となっております。





参照元：Coinmarketcap

## 銘柄の価格高騰要因(考察)



とは

TSUDOIRリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。

### XRP：XRP



本銘柄は、直近3カ月で3度目の選出となります。

注目ポイント：XRPの進展は、規制と法的な面で注目

最近のXRPの進展は、規制と法的な面で注目されています。3/13に、Rippleはドバイ金融サービス庁 (DFSA) から規制承認を取得し、UAEでのクロスボーダー暗号支払いサービスを提供できるようになりました。これは、中東市場への進出を強化する重要なステップとなります。また、3/19には、SECがRippleに対する訴訟の控訴を放棄し、4年間の法廷闘争が終了しました。これにより、XRPが証券ではないことが確認され、暗号業界にとって大きな勝利とされています。今後シナリオとしては、中東の企業や金融機関がXRPを活用し、高速・低コストな決済を実現することで需要が拡大し、流動性の向上が見込まれるとともに、SECによる規制リスクが解消されたことでXRPのより大きな事業展開が期待されます。

## BNB : BNB

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。



### 注目ポイント：Pascalハードフォークを実施

BNB ChainのPascalハードフォークが3/20に実施。EVM互換性を強化し、EIP-7702を導入。これにより、ガス代の柔軟化、スマートコントラクトウォレットの導入、バッチトランザクション対応(一度の操作で複数の処理に対応)などが実現し、UXが大幅に向上。これにより、セキュリティとユーザー体験が向上し、ユースケースが増加することが見込まれています。また、今後も、Lorentz（2025年4月）・Maxwell（2025年6月）ハードフォークでBNB Chainの高速化が進む予定とのこと。

## Chainlink : LINK

本銘柄は、直近3カ月で4度目の選出となります。



### 注目ポイント：Multistreamアップグレードによる需要増加への期待

Chainlinkは3/19に導入した「Multistreamアップグレード」により、分散型オラクルネットワーク（DON）が同時に数千のデータを扱えるようになり、高頻度取引や自動リスク管理がより高速化しました。DONとは、ブロックチェーン上のアプリに外部の価格情報などを安全に届ける仕組みです。また、CCIP（クロスチェーン間通信プロトコル）を活用するPAAL AIや Overtime Marketsでは、複数のブロックチェーン間でトークンを安全に移動可能となり、VelodromeもChainlinkの自動操作機能を導入してプロトコル効率を強化。こうした技術進化と活用事例の拡大によって、Chainlinkのサービス価値がさらに高まり、LINKトークンの需要が一層拡大していくシナリオが期待されます。

# CMCサイト内 検索トレンド 狙い目：中堅銘柄

## 狙い目：中堅銘柄 発掘ガイド 3/21

このガイドでは、将来的に市場をリードする可能性を秘めた中堅銘柄を見つけるために、下記分析手法を採用しています。Coinmarketcap (CMC) における過去7日間の検索トレンドや訪問者数を分析し、注目を集めている中堅銘柄に関する情報を提供することです。

### 検索トレンド3銘柄

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	上昇率 7days
#73	 <b>EOS</b>	Platform	¥136,211,963,229	¥87.67	71.89倍 (SOL比)	▲19.39%
#80	 <b>Pancake Swap</b>	DEX	¥109,695,672,574	¥374.87	5.62倍 (UNI比)	▲62.42%
#92	 <b>Four</b>	Gaming	¥95,099,843,646	¥259.03	1.57倍 (IMX比)	▲83.54%

### 狙い目：中堅銘柄チャート

以下の画像は、CMCでの7日間の価格推移のチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、▲3.32%となっております。





参照元：Coinmarketcap

## 検索トレンド中堅銘柄 注目要因(考察)



TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、**とは** 価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。

### EOS：EOS

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：3/19に新ブランド「Vaulta」として再出発することを発表

EOSは従来のブロックチェーン基盤からWeb3バンキングへ転換するため、3/19に新ブランド「Vaulta」として再出発することを発表しました。新ネイティブトークンは従来のEOSトークンと1対1で交換され、中央取引所の支援下で円滑な移行が進められます。ビットコイン連携や実世界資産(RWA)のトークン化を推進し、伝統的金融と分散型金融の融合を目指すことで、安定かつ革新的な金融エコシステムの構築が期待されます。さらに、ステーキングやガバナンス機能の強化により、トークン市場拡大と持続可能な経済圏への転換が進むと見込まれます。

## PancakeSwap : CAKE

本銘柄は、直近3カ月で2度目の選出となります。

注目ポイント：ミームコインを中心に流動性が高まり取引量業界トップへ

BNBチェーン上にあるパンケーキスワップは、一時的にUniswapを抜き、1日あたりの取引量でトップの分散型取引所となったと報じられました。特に、ミームコインが市場全体の約70%以上を占めることで、多くの流動性が集中しています。この現象は、かつてのSolana経済圏のように、ミームコインを中心に流動性が集まり、投機的な動きが活発になる傾向が見受けられます。今後は、流動性充実と健全な市場形成への取り組みが鍵となるでしょう。

## Four : FORM

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：BinaryXが新ブランド「Four」へ改名へ

バイナンスをはじめ複数の取引所でFORMが上場し、大きな注目を集めています。従来のBinaryXは新ブランド「Four」へ改名し、ミームを活用した分散型金融市場（DeFi）への展開を加速させました。パートナーとの連携でミーム関連サービスを強化し、既存のBNXトークンは1対1で新トークンへ交換、利用者の円滑な移行を実現。今回の改名は、新しいDeFi時代を迎えるための大きな一歩とのこと。新しいウェブサイトや拡充された機能により、より多くの価値や機会が提供されることが期待されます。

## 大穴：新規銘柄 発掘ガイド 3/21

このガイドでは、将来有望な「大穴銘柄」を発掘するため、CMC上で時価総額ランキング200位から800位に位置する銘柄を調査し、成長性の高いものに「Goodマーク」を付与する手法と、Tier1 VCが投資する銘柄の中から直近7日間で時価総額が急上昇したものを分析する手法を採用しています。大穴銘柄における「Goodマーク」は、TOPや中堅銘柄の「Goodマーク」とは性質が異なり、時価総額が低いことから成長の幅が期待できる反面、リスクも伴うため、リスクリターンのバランスを慎重に判断する必要があります。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	直近7日間 のCMC推移
今週該当する銘柄はありませんでした。						

## 引用元：

本レポートにおけるデータおよび分析は、以下の情報源を基にしています。

- CoinMarketCap：<https://coinmarketcap.com/>
- CoinCarp：<https://www.coincarp.com/>
- Messari：<https://messari.io/>

## 注意事項

本レポートは、投資助言を提供するものではありません。提供される情報は、一般的な解説に限定されており、個別の投資判断に直接適用するものではありません。投資に関する最終決定とその結果について、当方は一切の責任を負いません。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。商業利用に関するお問い合わせは下記よりご連絡ください。

発行元：TSUDO I

メールアドレス：[info@sigmainc.co.jp](mailto:info@sigmainc.co.jp)

ウェブサイト：<https://tsudoi-platform.co.jp/>